

## 大岳山(1267m)山行報告

【山行日】2015年11月22(日) 雨のち曇り

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 3,700円

【メンバー】CL:鈴木、大西、島田、関、  
津佐、福田

【コースタイム】岩舟支所 P6:00 = 滝本  
P7:20/8:00++ 御岳山駅 8:10/8:20 ~ 御岳神社  
8:40/8:50 ~ 綾広ノ滝 9:45 ~ 大岳山 11:10/11:20 ~  
大岳山荘 11:40/12:15 ~ 芥場峠 12:50 ~ 御岳山駅  
13:55++ 滝本 P14:10 = 岩舟支所 P16:10



滝本のケーブルカー駅に着いて驚いた。駐車場入り口から車が長蛇の列で連なっている。

紅葉の御岳山を目指して、登山客が殺到し駐車場の入場を待っているようだ。

狭い駐車場なので、係員が一台ずつ場所を指示しながら誘導するため時間が掛かるようだ。様子を見に行ったO嬢が、空きスペースと車の台数を数えOKのサイン。

20分待って順番が来て入場できたが、乗車予定のケーブルには間に合わなかった。

支度を整えトイレを済ませて乗客の列の最後尾に並ぶと、直ぐに折り返し運転の臨時便に乗ることが出来た。山頂駅に着き、外に出ると霧雨が降っていたので驚いた。

今日の天気予報は曇りで、雨マークは無かったのにと文句を言いながら、ストレッチを済ませ出発

する。薄暗いスギ林の中の舗装道を進み、ビジターセンターを過ぎると石畳に変わり、民宿など集落の間を登って行く。土産物店と食堂が並ぶ門前町を抜けると鳥居と山門があり、長い石段を上がれば御岳神社の本殿に着く。

ここが御岳山の頂である。参拝を済ませ石段を戻り、途中に大岳山方面への標識があり右折する。急な坂道を下ると平坦な道に出て、杉林の中を大岳山に向かう。

長尾平の展望台を過ぎ、七代の滝への道を分けて直進し、少し先のロックガーデンへの分岐

を左に降りて行く。緩やかに下って行くと七代の滝から登ってくる道と合わさり、右に養沢川に向かって降りて行く。養沢川を渡ると、ここからは沢沿いに歩く楽しい登山道。紅葉とプチ沢登りを楽しみ





ながら登ると、トイレと休憩舎があるロックガーデン入口に着く。休憩舎でリンゴやチョコレートを食べ、水分とエネルギーを補給する。大きな岩を見ながら沢の中を歩くように登ると、鳥居の奥に綾広ノ滝が現れる。落差10mと規模は小さいが、周りの環境と鳥居がパワースポットの雰囲気漂わせる。

左に急坂を登って滝の上に出て、沢沿いに進んで橋を渡ると、御岳山からの道と合わさる。ここからは自然林の中を登り、尾

根に出た所が芥場峠で休憩をとる。少し先で奥ノ院への道を右に分けると、鎖や鉄梯子の付いた岩場が現れ、慎重に登って行く。大岳山の東側を大きく巻いて大岳山荘に出て、山荘の裏から大岳神社の前を通り、岩交じりの急坂を登ると大岳山頂に着く。山頂からの展望は、南側が開け富士山や丹沢・御坂山塊が見えるはずだが、今日はガスっていて何も見えない。多くの登山者で賑わっており、こんなにたくさんの登山者が登っているのは初めてのこと。田中陽貴君の日本二百名山踏破のテレビの影響が大きいのかなと思った。あまりの人の多さに、大岳山荘まで下ってランチタイムとする。来た道を下るが、登って来る人が多くすれ違いに時間が掛かる。大岳山荘まで戻り、展望の良いテラスに行くと「立ち入り禁止」の看板があり、神社下のベンチでランチタイムとする。



焼うどんや厚焼き玉子でお腹を満たし、お茶を飲んで寛いでいると30名ほどの団体が来て賑やかになり、早々に場所を空けて下山する。下山は来た道に戻り、ロックガーデン分岐を直進して御岳山駅へ向かった。ガスも晴れ明るくなった登山道から青梅の街並みが見え、紅葉も色が鮮やかに見える。長尾平まで行くと観光客で賑わっており、お土産屋が並ぶ門前町は通るのが大変なくらいの人。御岳山駅に着くと、ここも大勢の観光客でごった返している。ケーブルもカーも終日折り返し運転にな

っていたので、直ぐに乗車口に並び滝本駅まで下った。滝本駅も駐車場待ちの車で長蛇の列。

この時季の御岳山は、人気の山なんだなと実感させられた。

帰路も渋滞も無く順調で、開通した圏央道の恩恵を受け予定通り岩舟支所に帰着した。